

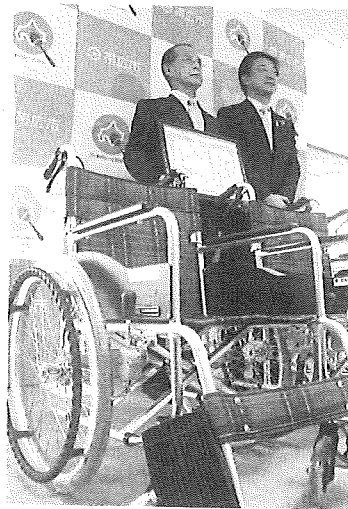
産廃活用し 車いす寄贈

宮坂建設工業

帯広市の宮坂建設工業は23日、自社の産業廃棄物などを物品と交換する民間の仕組みを

活用し、市に車いす3台を寄贈した。

同社は産廃の重量をポイント交換し、物品と交換する仕組みを活用して6年前から業務で出た産廃を車いすに交換、本社、支店のあ



る帯広、札幌、釧路の3市に毎年各3台ずつ寄贈している。

23日は有川進副社長らが帯広市役所を訪問、米沢則寿市長に目録と車いす3台を贈った。米沢市長は「消耗品でもあるので、新しいものをいただけるのはありがたい」と感謝。有川副社長は「できる限り続けたい」と話した。(岡高史)

寄贈された車いすを前に記念撮影する有川副社長(左)と米沢市長



2013年(平成25年) 4月24日 水曜日

寄付

◆宮坂建設工業(宮坂寿文社長)が帯広市に車いす3台寄付

23日、有川進副社長(写真左)が帯広市役所を訪れ、米沢則寿市長(写真右)に渡した。

同社の社会貢献活動の一環。1995年度以降、市への寄付は12回目。今回は鉄くずなどのリサイクルで交換した車いす3台で、計19万5000円相当。この日は小山内誠購買部



長と長谷川雅毅営業部長が同行。米沢市長は同社に対し、「社会福祉の向上に大きく寄与するもの」として感謝状を贈った。車いすは市の公共施設で使用される予定。同社は「福祉の充実に役立てば」としている。

各企業等の社会貢献

宮坂建設工業が車いす寄贈

市の福祉向上に役立てて

帯広市へ3台 札幌と釧路にも



を寄贈。あす二
十六日には札幌
市と釧路市にも
寄贈を予定して
おり、市の施設
で使用すること
が予定されてい
る。

この日は有川
副社長、長谷川
雅毅常務らが市
役所を訪問。有川副社長は
「我々はインフラを整備し

【帯広発】宮坂建設工業
(株)（帯広、宮坂寿文社長）
は二十三日、地域貢献の一
環として、帯広市に車いす
三台を寄贈した。市役所を
訪れた有川進副社長が「市
の福祉向上に役立ててほし
い」と、米沢則寿市長に目
録を手渡した。写真。

同社は会社や各現場で発
生する廃品について、回収
業者との間でリサイクルポ
イントを取り決める制度を
活用。ポイントで車いすを
購入し、帯広市をはじめ、
支店のある札幌市と釧路市
に車いすを寄贈しており、
こととして六年目となる。

この日の帯広市分も含め
ると六年間で累計四十八台

ており、地域住民の皆さん
のために自然体でボランテ
ィアを行っている。市の福
祉向上に役立てるため、今

後も寄贈を継続していきな
と話し、米沢市長に目録を
手渡した。
これに対して米沢市長は
「自治体の運営は住民の皆
さんの協力の上で成り立っ

ているということをあらた
めて実感した。車いすは生
活に必要なもので大変
ありがたい」と感謝の意を
表し、有川副社長に感謝状
を贈呈した。

北海道建設新聞

2013年(平成25年)4月25日(木曜日)

車いす3台を
帯広市に寄贈

宮坂建設工業

【帯広】宮坂建設工業
(宮坂寿文社長)は23日、
社会貢献活動の一環とし
て、帯広市に車いす3台
を寄贈した。

廃品回収のリサイクル
ポイントを車いすに交換
し、福祉の充実に役立
ててもらおうと、本社のあ
る帯広市と支店を置く札
幌、釧路の両市に200
8年から毎年寄贈してい
る。

この日、有川進執行役
員副社長や長谷川雅毅常
務執行役員営業部長らが
市役所を訪問。米沢則寿



市長に目録を手渡した
後、感謝状を受け取った
写真。米沢市長は「車
いすは消費品なので、毎
年いただいて非常にあり
がたい」と感謝。有川副
社長は「可能な限り寄贈
を続けたい」と話した。
札幌市と釧路市には、
どちらも26日に贈る。